

まほろば秦野通信

平成29年1月5日

秦野市役所市長公室広報課

タイトル	子供たちが無病息災、家内安全を祈り家々を回る 江戸時代からの伝統行事「あくまっばらい」	
What (なにを)	小正月の道祖神行事「あくまっばらい」を各地域で開催します。江戸時代から続く伝統行事です。	
When (いつ)	<北地区・横野> 1月7日(土曜日)午前8時30分に加羅古神社(横野608)集合。地区の小・中学生が、最年長の大將を中心に、獅子頭をかぶり、太鼓を鳴らしながら「舞い込め」の掛け声とともに、横野地区の約200軒の家のお払いをして回ります。一時途絶えていた時期がありました。昭和40年代に子ども会が再開しました。	
Where (どこで)		
Who (だれが)		
How (どのように)	<西地区・堀西> 1月8日(日曜日)午前9時40分に天津神社(堀西769)集合。10時出発。波多川子供会が、獅子頭を持ち、波多川地区の約200軒の家の玄関先などを回り「あくまっばらい」と大声で唱えます。 <上地区・菖蒲> 1月13日(金曜日)午後4時に菖蒲997そばの道祖神に集合。下東地区の小・中学生男子が、最年長の大將を中心に、獅子頭や御幣を持ち、ひよっとこの仮面をかぶって、菖蒲地区の約150軒の家の玄関先などで「あくまっばらい」と大声で唱え、手作りの札を配ります。	
Why (なぜ)	「あくまっばらい」とは、いくつかの地区に伝えられている道祖神祭りの別の呼び名の一種で、無病息災、家内安全を祈る行事です。	
問い合わせ	教育部生涯学習課文化財担当 担当：室田 電話0463(87)9581	